

これから家づくりを考えられるご家族へ
「建てた人に話を聞くと、見学会を見るのが一番参考になると思う」



Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.039
カムホームストーリー
高知市・Yさま邸
竣工:2011年1月
設計担当:福井 美絵



「父親が大工をしていたので、自然素材が良いものだと知っていた」

結婚後、2人のお子さんに恵まれ、年齢的にもマイホーム適齢期を迎えたYさま。「今の家賃と変わらないぐらいで建てられるなら」と、上のお子さんが小学校に上がる前に新築を決意しました。

お父さまが大工をしており、若い頃から馴染みのあった天然木。ご主人は「当たり前になっていたものもあるけど、自然素材が良いものだと知っていたから」と、素材選びを第一前提で考えました。いろんな住宅会社を検討する中で「いいな」と奥さまの目にとまったタイセイホームの広告。当時雑誌でもあまり見たことがなかったという自然素材を使った個性的な家に「こんな家に住みたい」と、ぐっと心を掴まれたと言います。見学会では、スーツを着てかきこまった営業マン、一方的な押し売りなど、それまで見てきたすべての住宅会社とは違って、「スタッフさんがざつぱらんで営業がなくて、それが本当に良かったです」と話す奥さま。ご主人は「家の雰囲気よりも素材が良かった」と、タイセイホームのこだわりや家づくりに共感し、一から勉強をはじめること。払っていた家賃とそう変わらない金額で建てられることが分かり、家づくりがスタートしました。



「できたものを選ばなくて、自分たちでつくっていくのが楽しかった」

「もともとイタリアのような家が好きで」というご主人がこだわったのは、瓦屋根や格子入りの窓に手摺をつけてデザインした外観、R垂れ壁、白と茶色を基調とした内装です。

いよいよお家の打合せが始まる頃、どんな家にするかを雑誌や見学会の家を見ながら何度も話し合いを重ねたYさまご夫妻。厳選していく中で二人の好みが似ていることが分かり、自然と楽しみながら家づくりができたと言います。将来のこともじっくりと考えたお二人は、「歳をとると階段の上り下りが大変だから」と、寝られるだけの広さで和室を1階へ配置。「今は子どもの部屋になってるけど、そろそろ上へ上がるかな」と、お子さんの成長がうれしいような寂しいような奥さま。また、バリアフリーになった時のことも考えて、できるだけ室内の扉を引き戸で希望しました。風を通すのに開けっぱなしにしたい時は、この引き戸が便利だと言います。奥さまは「靴以外に外の物も家の中にしまえるように」と2箇所、多めの玄関収納にこだわりました。そこにご主人こだわりのR垂れ壁のデザインを加え、使い勝手とデザインに満足しています。



「建てた人に話を聞くと、見学会を見るのが一番参考になると思う」

洗濯係りを担当するご主人は「大丈夫と思っていたけど、洗濯物を干すと布団が干せなかった」と、予算を考えて狭めたベランダがもう少し広かったらと振り返ります。窓につけた手摺のおかげで洗濯物と同時に干したいときは、代わりにここで布団が干せると大活躍。防水塗装を施した木の天板と、タイル張りで悩んだというオーダー洗面台では、白いタイルを採用しました。汚れを心配していた奥さまでしたが「そんなに気にならないし、たまに漂白するぐらいです」と、お手入れの手軽さにうれしい思いです。

新築して、5年5ヶ月が経過したYさま邸。家建ててからというもの、家族時間が自然と増えました。映画が好きでパンフレットを集めるのが趣味だという旦那さまがこだわった書斎は「今は収納するだけの物置やね(笑)」と、ほとんど1階で家族といっしょに過ごしています。緑の木陰が気持ちいいお庭では、草が生えてくるからと休日ご夫婦でタイルを敷きつめました。「うまくできなくてやり直したね」と顔を見合わせるお二人。共同作業で時間をかけて完成させた思い入れのある場所です。

ご自分たちの家づくりを通し、これから家づくりを考えられるご家族へ「建てた人に話を聞くと、見学会を見るのが一番参考になると思う」とアドバイス。できるだけ情報収集をして、後悔の少ない家づくりをしてほしいとエールを送るYさまです。

